

知れば知るほど面白くなる 館山まるごと博物館

人と街にふれあつて感じる、館山の息吹。

海辺の街、館山にはちよつと気になる場所がたくさんあります。

道にはみ出すほど大きな木、絶景の寺、海を見渡す灯台……

そんな館山の街全体を「地域まるごと博物館」ととらえ、

史跡保存や文化を守る活動をしているNPO法人があります。

代表をつとめる愛沢伸雄さんは、歴史と文化に満ちた館山をよく知る、

いわば博物館の館長の存在で、そのお話を聞けば

街歩きの見点が一变するかもしれません。

好奇心のタネがたくさん眠っている館山へ、

早速出かけてみましょう。

「地域まるごと博物館」という考え。

「館山まるごと博物館」という考え方のもとは、1960年代のフランスで、生態学（エコロジー）と博物館（ミュージアム）を組み合わせた「エコミュージアム」にあります。学芸員が収集したものを展示していくのが博物館ですが、「エコミュージアム」は地域全体の自然環境、文化財、産業遺産などを含めたすべてのものを、生きた博物館と見立てて、運営している、こうという発想です。



八犬伝のふるさと
里見の街

転地療養と
海辺の文化

館山
まるごと
博物館

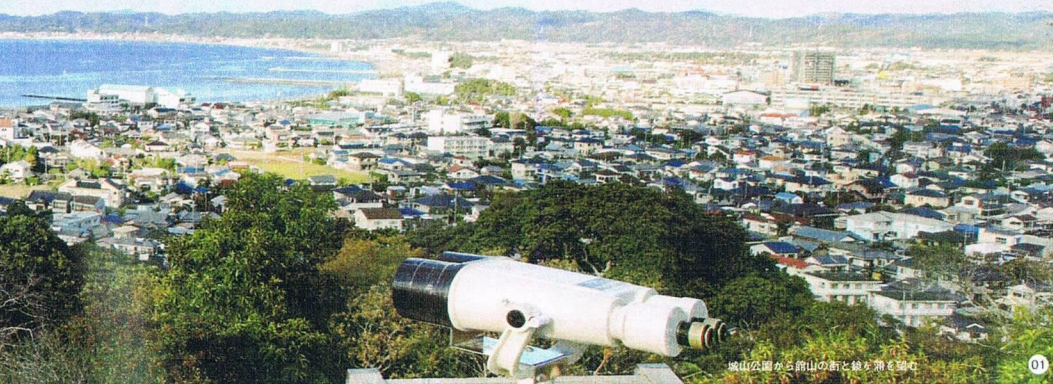
戦争遺跡と
平和学習

太平洋・アジア
との交流文化

安房ゆかりの
画家文人

館山は太平洋に突き出て、東京湾口部にある要所・漁業、海路の拠点として発展した一方、繰り返して中央政権の影響も受けてきました。それが「八犬伝の舞台」として描かれた戦国期里見氏の城跡群や赤山地下壕・東京湾要塞などの戦争遺跡群です。それらの時代を俯瞰すると、重なる「見えるのが歴史の醍醐味です」。

また、房総半島南方の沖合いには黒潮と親潮がふつかり、豊かな生態系を形作るとともに、太平洋世界やアジア世界との交流が育まれてきました。そこから育まれたのが『なめろう』や『さんかく焼』などの伝統料理で、それらの食文化から海とともに暮らしてきた館山が浮かび上がってきます。また漁業をする人々の姿は明治期の画家、青木繁によって描かれ、国の重要文化財となった絵画『海の幸』に結実したのです。





NPO 法人 安房文化遺産フォーラム代表 愛沢伸雄さん

30 年ほど前に館山に移住し、市内の高校で世界史を教えるかたわら、20 年ほどより歴史的建造物の保存活動をはじめ、長年の真摯な活動が評価され、「内閣官房長賞」「千葉県文化の功労賞」「文化財保存全国協議会第 10 回和島誠一賞」を受賞。他に「里見氏頼朝城跡を保存する会」「館山地区公民館跡跡蹟保存会」「安房歴史教育者協議会」の各代表も務める。

安房文化遺産フォーラム 館山市館山 95 (小高記念館) TEL.0470-22-8271
http://bunka-tsan.awa.jp/ ※スタディツアー等の案内は HP をご覧ください。

知れば知るほど、つながっていく。

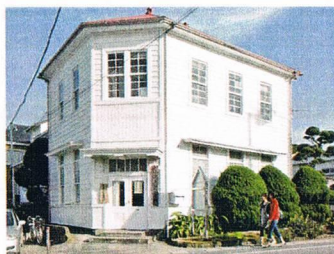
また館山は、温暖な気候から避暑避暑の保養地としても栄えました。全国的な人脈をもつ政治家や財界人、文人墨客が訪れたり、移住したことから、明治以降の近代化の波も一早く訪れることになりました。

そのころは海辺の空気が療養にいいということと、転地療養がさかんでした。館山には「まち医者通り」と呼ばれる道があり、かつて病院が集まっていたころの名残ともいえます。

今でも周辺には風情のある建物が多く残っているうえ、館山クルメが堪能できたり、見所の多い地域のひとつになっています。

少し離れて、花の季節は特に人気の高まるドライブの名所、房総フラワーライン。道沿いの花づくりは有名ですが、太平洋戦争時は食料増産のため花畑がサツマイモや麦畑にせられました。が、花農家のささやかな抵抗で種や苗が隠されたことで戦後の花作りを支えていく経緯になりました。美しい花畑景色の裏側には、こんな歴史も隠されているのです。

こんなふうに、館山の魅力はひとつくちでは語



小高記念館

大正期の銀行建物で、鶴川から昭和初期に移築されたもの。所有者であった、故・小高森郎氏は衆議院議員で館山一部内閣の文部政務次官をつとめ、晩年は詩人として活躍した館山市の名誉市民。

り尽くせないほど奥深いもの。ぜひ何度も足を運んで、体験してみてください。それぞれに道を究めた、まちかどの学芸員。から、話を聞いたりするのも貴重な体験です。年齢と経験を積んだ達人の話は、いつだって興味深いものですから。

「館山まるごと博物館」には想像以上に「展示品」が詰まっています。ふらりと歩けば、きっと自分の感性にひびいたり、台つ景色や史跡、魅力的な人々に巡り会えるでしょう。

CONTENTS

知れば知るほど面白くなる「館山まるごと博物館」・・・	P.1-2
美味道楽 Vol.1 粋に味わう館山	P.3-5
ナイトビュー・ガイド	P.6
そして風になる一海辺のドライブ	P.7-8
真空管アンプづくりの巨匠に、会いに	P.9-10
美味道楽 Vol.2 心地よく酔える隠れ家	P.11-12
街歩きマップ	P.13-14

